平成２８年度　府市民健康文化講演会より

2/18・19　京都マラソンボランテイア報告

今回で６回目を迎えた京都マラソンのマッサージボランティアに参加しました。金曜日は夕方から師会会館でトラックにベッド等資材を積み込み、みやこめっせで夜８時半頃から搬入し終了。

土曜日は昼３時半からパイオネックスゼロによる経穴中心のコンディショニングと障害予防アドバイスを夜６時半まで行い１３０名もの方に受けて頂きました。中には遠くニューヨークから来て下さった黒人ランナーの方もいらっしゃり、均整のとれた身体のあちこちにパイオネックスを貼ると、まるでロボコップのような外見になられ、思わず微笑んでしまいました。ご本人もいたく気に入って下さいました。

日曜日はまだまだ反省・改善が見える内容でしたが、事故なくボランティア活動が終わり良かったと思います。自分自身は昨年より施術人数が１名減の２４名で、これも反省と共にまた来年に向けて精進して参ります。その後の懇親会はタクシー代から運営費まで組織部が持って下さり、例年以上に盛り上がりを見せました。多くの他府県・他団体の先生方と交流が深められました。

後日、開始直前に激励下さった門川市長もご自身のフェイスブックにて我々の事を「本部やおこ

しやす広場では、ボランティア・スタッフの皆さんが、役割分担に基づき、きびきびと行動。幅広い団体が特技を生かしご奉仕。足湯、鍼灸マッサージ、温かい味噌汁、医療・安全などなど～心から感謝。」と、写真付きで紹介して下さいました。毎年多くの先生方が一生懸命努力して下さった成果がこうして形となり感慨深いものを感じると共に、また来年も頑張ろうと思いました。

【洛中ブロック　吉舎定良】

今回、京都マラソンのボランティア活動には初めて参加させて頂きました。
前日のコンディションでの参加は、基本的にはパイオネックスゼロを痛みのあるところやマラソンで疲れやすい箇所を確認しながら貼らせて頂きました。今までケアを余りしてない方も多く、寝違いが痛くて次の日を走れるか心配されておられるランナーさんもおられて、５分程度の施術で改善されて喜びの声で「明日頑張ります」と。当日、マラソン後のケアでは、初めて鍼を受ける方も多く、鍼の効果の高さやトレーニングの上でのケアの必要性を説明しながら施術させて頂きました。鍼やマッサージを受けることにより良いタイムや良質な筋肉が作られることなどを説明し、遠くから来られておられる方も「地元に帰ったら探して見ます」との声もあったので有意義な２日間になりました。ありがとうございます

【滋賀県匿名】

人は、なぜ 42 キロも走るのだろう？!
走らない者にとって、それはいつも疑問であったし、交通規制の大変な京都マラソンは、いい迷惑やとも思っていた。
マッサージのボランティアに参加して、ランナーの方々とお話しする機会を得て、わかったことがある。それは、42 キロのフルマラソンはドラマチックだということである。
１万６千人が 42 キロを走る京都マラソンには、１万６千人分のドラマがある。
その一人一人のドラマに何万人もの人が、サポートしてくれている。
今回参加して、ベテランの方の無我の境地の話や初挑戦の方の感動や１週間前にギックリ腰をしてしまった方が５時間 47 分で何とか完走出来た話やら、一杯感動と勇気をもらった。
たった６分のマッサージでも最高の笑顔で感謝された。
是非とも、もっと多くのマッサージ師の先生方にこのイベントに参加していただき、感動の輪を広げたい。もし 100 人のマッサージのスタッフが揃ったら、１人 12 分のマッサージが出来るので、来年はみんなで盛り上げて行きましょう。

【洛中ブロック　中井尚】

2014 年から参加を続けて今回で４度目となったが、回を重ねるにつれ対応にも慣れてきたと自負する。今回感じたのはゴールの早かったランナーほど施術への満足度が高かったと印象を持った。
後になると、完走こそすれ体のどこかに異変を持ってくる人が多くなり、そういう人は施術によって異変の除去をしてもらえるという期待があるのでそれを得られないと満足しないように思う。

時間制限のある中での施術なのでやむを得ないことなのかと思う。やはりトップランナーは事前のコンディション調整をきちんとして競技に望んでいるようだ。遅いランナーへの事前の調整に関する指導・助言なども一日目のセッションにおける私たちにできる仕事のひとつなのではないだろうか。来年の無事故を祈り、筆を置く。

【洛南ブロック　匿名】

京都マラソン 2017 マッサージボランティアに今年も参加させていただきました。

準備もあり午前９時集合だったので８時に自宅を出て会場の「みやこめっせ」に向いました。到着すると周辺にはたくさんのボランティアスタッフがおられました。許可証をみせて「みやこめっせ」に入り3F に行くと、すでにスポーツケア部の北川先生や戸中先生が準備をされていました。

スタッフミーティングや全体ミーティングを行い、12：00 ごろになるとトップランナーやリタイアしたランナーが少しずつマッサージにやって来ました。

今年特に感じたことは、外国人ランナーが多かったことです。北田がマッサージした約 1/3 が外国人でした。台湾や香港の方が多かったように思います。通訳については、事前に北川先生が英語・中国語の通訳のスタッフを手配してくださっていて本当に助かりました。

マッサージしている隣で KBS 京都の LIVE 放送があったり、門川大作市長が何度もマッサージのフロアを見て回られたりと京都市にも会の活動のアピールができたと思います。

これからも、色々な団体や学校と協力して、全国で一番ランナーに喜んでいただけるマッサージを提供できるイベントにしていけるよう、皆様のご協力をお願いします。

ご参加された先生、大変お疲れさまでした！

【洛南ブロック　北田義博】

当会が担当させて頂いて６回目となる京都マラソン２０１７も多くの先生方のご協力のもと無事に終えることが出来、感謝の言葉しかありません。本当にありがとうございました。これまで、他府県の先生方のマラソン大会での活動を数か所参加させて頂きましたが、屋外テントでの施術が多く、体育館でも倉庫であったり・・・と、京都のような条件の所は少ないように思われます。これに甘える事なく、毎年少しずつ改善していきたいと思います。

今年からは会場内の避難通路の確保が条件になりましたので、会場レイアウトを行政側と話し合い、設営も任せる事でこちらの負担を減らせる事が出来ました。２月は専門学校のテストと国試の為、学生さんの参加が少なく市のボランティアにお世話になる部分が多いのも今後の課題です。

参加して下さる先生方に来年も来たい！と言っていただけるように頑張ります。

【洛東ブロック　戸中照之】

京都仏眼鍼灸理療専門学校の進路セミナー出講

３月９日(木)京都仏眼鍼灸理療専門学校に於いて、３ 年生を対象とした進路セミナーに於いて本会の段本保険部長が健康保険取扱いの説明会に出講し療養費等について講義しました。

昼間部 13：00～16：10・人数 27 名、夜間部 17：50～21：00・人数 15 名が参加しました。学生の皆さんも一生懸命に耳を傾けていました。【保険部】

法 制 だより

今月の法制部報告

■指導要請■

（１）西京保健センターへ１件……無免許者による違法広告

（２）中京保健センターへ１件……無免許者による違法広告

◇◇◇　会員の皆様～法制部へ情報提供をお願いします　◇◇◇

無免許業者によるビラやチラシ等の案内、看板、施術等の情報提供を本会事務所へお寄せください。

TEL 075-803-6078　FAX 075-821-2390　【法制部　山﨑宣彦】

会 員 掲 示 板

第４回熊本大地震マッサージボランティア活動報告

京都府鍼灸マッサージ師会
洛中ブロック 吉舎 定良

活動日数：２月１２日～１４日（３日間）

延べ施術師人数：９名　延べ施術時間：１１時間半　延べ施術人数：５９名

＝ 感想 ＝

今回は１２日(日)午前中第１回～第３回にお世話になった水前寺公園玄宅寺の永野陽子コーディネーターを訪ね、気管にアミロイドーシスが発症され自宅療養の永野陽子さんと、ご子息の永野英寿

さんにマッサージボランティアを行いました。
午後は熊本市民会館シアーズ夢ホール２階会議室にて鹿児島大学大学院的場康徳医師による「援助職のための傾聴研修」に参加し、援助者と被援助者の心の葛藤や焦り諦めなどグループディスカッションを交えて２０名で行いました。

１３日（月）NPO 法人鍼灸地域支援ネットのメンバーとして大阪府・奈良県・和歌山県の先生方と一緒に４名で行動し、熊本市から車で約２時間南へ下がった南区の藤山団地・前野原団地集会所を訪問しました。朝１０時から夕方５時まで３７名にマッサージを行いました。
仮設団地は田んぼや畑の真ん中にあり、近くのコンビニまで約２km と車が無ければ中で生活出来ない不自由な生活をするしかありません。集会所にも顔を出さないで孤立化しているご家族もいらっしゃって自治会長さんや社会福祉協議会さんらがご苦労なさっていました。
我々が施術した方々の中にも様々な考えや悩みが渦巻いてらっしゃる方もおられ、お話を伺っているうちに突然多くの気持ちが入った言葉を立て続けに話された方もいらっしゃいました。
また、若い二十歳代のご夫婦がおずおずと最後に受けに来て下さり、寡黙ながらもご苦労されている様子が伺えました。

１４日（火）吉舎は昼に熊本空港を立つ為、他の先生方と別行動を取り再び永野陽子コーディネーターを訪ね、ご本人とご子息の永野英寿さんにマッサージボランティアを行いました。ご家族共に震災以降被災者の方々に対して炊き出し２００人分の豚汁や、宗派問わず僧侶の方々と薄茶を点てて振舞われる等、大変なご苦労をされて来られた為少しでもお気持ちを楽にして頂けたらと思いました。
第３回にお世話になった中川菜穂子熊本市社会福祉協議会事務局長にも電話にてご挨拶し、東区にもマッサージボランティアの需要がある旨を伺い、また機会を改めて参りたいと思いました。

今回も３日間という短い期間の中、精一杯やらせて頂きました。復興は進んでいるものの、メインストリート沿いのビル１階にはまだ修復がなされていない所もぽつりぽつり有り、これからも継続的にボランティア活動する必要を感じました。